

第1回定例会を開催しました

日 時 平成15年5月12日(月)午後6時30分～9時30分

場 所 柏崎商工会議所・大研修室

出席委員 23名(欠席1名)

オブザーバー 柏崎市長、刈羽村長、西山町長、県産業労働部・小林副部長、馬場地域担当官事務所長、石渡保安検査官事務所長、東京電力(株)：榎本副社長、武黒柏崎刈羽原子力発電所長、佐竹原子力本部副部長

委嘱状交付、各委員の自己紹介、市長あいさつに続き、議事に入りました。最初に広報委員(情報誌・ホームページ担当)の指名があり、続いて東京電力不正問題の経過について新潟県から、発電所の取り組みについて東京電力からそれぞれ説明がありました。続いてそれに対する質疑応答などが行われました。最後に村長のあいさつで終了しました。

主な質問・意見は次のとおりです。

- 6号機運転再開は十分な説明がなされたのか
- 今回の不正問題の行政責任は
- プルサーマルは今後も実施するのか
- 今後どういう議論をするのかの話し合いが必要
- 東電は反省が足りず、信用できない
- 住民理解と言う一方で夏に何基必要と言うのは
- 会の開催前に6号機を運転再開した理由は
- 品質保証について
- 総点検結果の評価について
- 不都合な報告の書き換え等の事実は
- ダメだけではなく代替案を提議しては
- 現場を見たい
- 北朝鮮問題で国へ平和解決の要望を
- 空からのテロでも大丈夫か
- 津波対策は

冒頭、広報センター理事
長である柏崎市長から委員へ委嘱状の交付、次に各委員から自己紹介、続いて関係機関を代表して柏崎市長のあいさつがありました。

柏崎市長あいさつ

皆さん方が何度か準備会を積み重ねてこぎつけた、設立の最初の会にオブザーバーという立場でご案内をいただき、感謝。

無から有を生ずるのは難しいが、この会の場合、マイナスから有を生ずるといふレベル・性格。ここに至るまで事務局からの報告等を拝見し、皆さん方のここにかける複雑な気持ち、どうしようかなという気持ちも含めて、行きつ戻りつもしながらも、今日の設立までこぎつけていただいたことは、私としても、市民の立場からもありがとうございますと、本当にここまですごくこぎつけていただいたというところが実感。

31年前に田中角栄先生が中国で周恩来さんと日中交渉の激しいやりとりをしたわけですが、その後、田中首相が毛沢東さんに対面した時、毛沢東さん曰く、

「けんかは済みましたか」と。けんか、要するに激しいやりとりの中から互いの立場は違っても信頼感やけんかをしなければ生じ得なかった別の気持ちの交流というようなことをおっしゃりたかったと思います。このメンバーの方々に、決して仲良くして下さいとまでは申し上げませんが、生まれ出た会が市民のために、何らかの形で環流・還元できるようなことが一つでも二つでもあるよう、辛抱強く、息長く構えてやっていただければ大変ありがたい。

多難な船出で、誰も先行きはわからない、下手すると空中分解ですが、それは誰の責任でもない。事務局は一生懸命、空中分解しないようにするでしょうが、皆さん方一人一人の最後のところ、どこにその気持ちを向けるか、そこを持ち合わせて持続していただければ、何とか行きつ戻りつしながらも、どこかで市民に還元できることがあります。得るかなという期待を持って私どもも見守らせていただくところです。

何回かの会合のうち、折に触れて、必要があれば呼んでいた